



よなご 市議会だより

2026.10.1
No.86

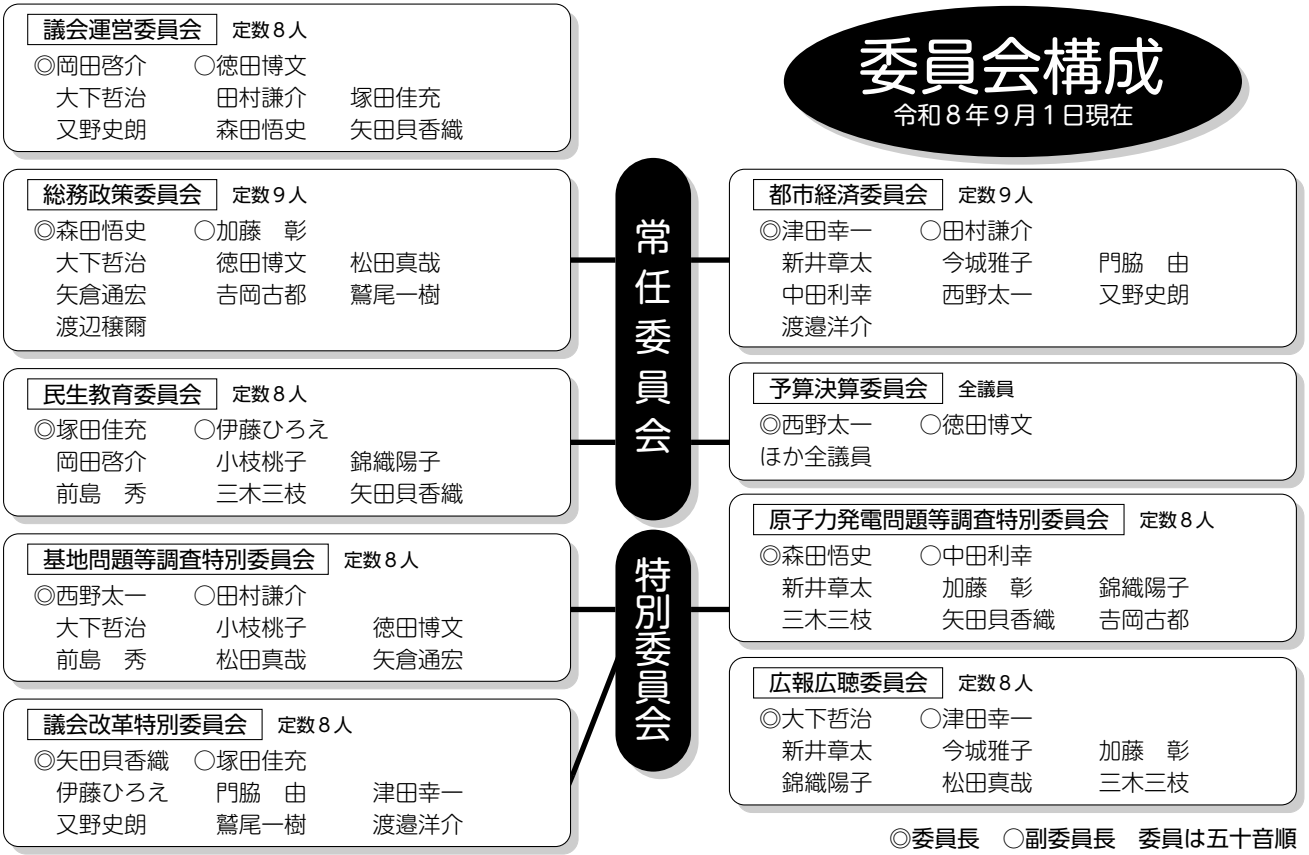
2026年(令和8年)
10月1日発行



表紙写真：第7期 米子市議会議員



定例会の概要	P2
議長・副議長の就任あいさつ	P2
委員会構成・常任委員会の所管事項等	P3
市政一般に対する質問	P4 ～ P16
議案等審議結果一覧表	P18 ～ P19
議員紹介	P20



各個質問

■議員 訪問型サービスDを利用した移動支援の課題である車両調達や運転手確保について、市が示した「ノウハウ共有」の具体策を伺う。

■福祉保健部長 空き車両の活用共有、社協と連携した担い手育成とマッチング、専門家研修でノウハウを広げる。

■議員 行政や地域とつながらず、支援の網から漏れやすい方の移動ニーズは、どのように把握するのか伺う。

■福祉保健部長 民生委員の情報や高齢者調査データを活用し、地域包括支援センターによる潜在的な生活課題を抱える方へ戸別訪問を実施する予定である。

■議員 路線バスや巡回バスの利用促進に乗り継ぎ拠点の充実が必要である。円滑な乗り継ぎのための結節点の在り方を伺う。

住民共助型の移動支援について



地域活動支援センター運営団体の現状について

■総合政策部長 快適な待合環境と運用整備が重要であり、伯耆大山駅等を結節点に、JＲやバスと連携し、ダイヤ設定する。

■議員 より住民に近い公民館の拠点化を要望する。

■議員 地域活動支援センターは再編後3か所体制となったが、現在の運営状況を伺う。

■福祉保健部長 令和8年度は運営法人の事情で1事業所が運営を取りやめ、2事業所で運営中である。

■議員 途中撤退を防ぐ再発防止策について伺う。

■福祉保健部長 運営実績や税滞納の有無を確認し事業計画を精査している。選定後も報告確認や聞き取りで状況を注視する。

■議員 市と連携する委託・補助事業者で人権侵害の相談が寄せられている。条例に基づく人権尊重条項を契約書等へ明記すべきと考えるが、見解を伺う。

■人権政策監 人権侵害の特定は難しく、慎重な対応が必要であり、条例で事業者の責務を規定している。研修等で意識向上と人権侵害の未然防止を図る。

あなたの声を市政に！

7月定例会では、25人の議員が各個質問を行いました。



紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。詳細は市議会ホームページのインターネット録画配信、または、会議録をご覧ください。

※会議録は、議会事務局、各公民館、市立図書館でご覧になれます。



「一般質問」とは、議員が市の一般事務について、市長及び執行機関に対し質問を行うことです。
「一般質問」には以下の方法があります。
●各個質問：議員が個々の立場で質問を行う
●代表質問：3人以上の議員が所属する会派の代表が行う
●関連質問：代表質問を行った議員と同じ会派の議員が関連した質問を行う

各個質問



もりた さとし
森田 悟史 議員
【新政自民】



米子アリーナの整備状況について

■議員 米子アリーナの整備状況について進捗を伺う。

■文化観光局長 令和7年6月に着工し、令和8年6月末時点の進捗率はおおむね予定どおりである。令和9年6月末に完工し、9月ごろ供用開始予定としている。

■議員 中東情勢悪化による資材高騰・納入遅れの影響について伺う。

■文化観光局長 一部資材の値上がりや納入遅れの影響はあるが、大きな進捗の遅れはない。

■議員 改定された国のPFIガイドラインの内容と、市の対応方針について伺う。

■文化観光局長 物価指数と市場価格に乖離が生じた場合は、相見積りや官積算の活用が考えられること、全体スライド条項の起算点を予定価格の算出時点

と、サービス価格の改定基準時点を近づけることなどが示された。ガイドラインの趣旨を踏まえ、今後も適切に対応する。

スポーツまちづくりについて

■議員 老朽化が進む地区体育館の今後の方針を伺う。

■市長 建築後45年を目安に順次廃止・解体の方針である。空調整備は予算面から小中学校体育館を優先し、日常利用の役割は学校体育館へ移行し、大会会場機能は米子アリーナとアリーナを補完する新設予定の地域拠点体育館へ移行する。

■議員 廃止による既存利用者への影響について伺う。

■文化観光局長 学校開放事業に空きがあり、地域拠点体育館の整備も検討していくため、当面大きな影響は出ない。

■議員 地域拠点体育館の整備方針について伺う。

■市長 米子アリーナを補完し、大会会場・地域の防災拠点として役割を担うことになる。整備に当たり、空調設備を設置することとしており、場所や時期は地区体育館の廃止時期や地域バランスを考慮して検討する。



かとう あきら
加藤 彰 議員
【新政自民】



自転車の安全利用で豊かな生活と地域活性化について

■議員 高齢者や子育て世代などへの健康維持や生活支援のためにも、電動アシスト自転車の購入費用補助の実施により応援できないか伺う。

■総合政策部長 現時点での購入費用補助の考えはないが、通学支援、子育て世代支援、高齢者の移動手段確保やフレイル対策、環境対策など各種の論点があり、本市の実情に応じた自転車の利用促進策について検討を進める中で、研究してみたい。

■議員 本市でも自転車活用推進計画を策定し、自転車を地域活性化やまちづくりへ生かし取り組む必要があると考える。今後の策定への考えを伺う。

■総合政策部長 本市の実情を勘案しながら、より効果的な政策を展開するため、策定に向け検討を進めたい。

空き家の活用推進について

■議員 空き家の家財道具撤去処分への費用補助はできないか。

■都市整備部長 撤去処分に関しては、公民館講座などの啓発活動を通じて家財道具の整理的処分にやり組んでいただくよう呼びかけており、現時点での補助制度の創設は考えていない。

■議員 全国でも撤去処分費用に補助制度がある自治体は割と多くあり、今後、様々な取組を参考にし、前向きに検討することを要望したい。

■議員 空き家の活用促進のため、空家等活用促進区域の設定に向け積極的に取り組んでいく考えはないか伺う。

■都市整備部長 現時点で区域を指定する予定はないが、今後、制度の効果的な活用が図られるかどうかという観点から、他自治体の取組状況などを注視したい。

■議員 中心市街地活性化、移住定住、二地域居住、観光振興、福祉増進、コミュニティ維持など、本市でも課題である取組を解決するためにも、前向きに進められたい。



わたなべ ようすけ
渡邊 洋介 議員
【新政自民】



中心市街地の拠点機能強化
と官民連携の推進について

■議員 米子駅前の実証実験では、にぎわいを評価する声がある一方、安全面の課題も明らかになった。今後の活性化に向けた課題をどう捉えているのか。

■総合政策部長 平日の歩行者通行量や周辺店舗の売上げに大きな変化はなかった。今後は民間事業者の積極的な活用を促し、にぎわいを広げる必要がある。

■議員 米子城跡や加茂川など各エリアにある魅力を「点」から「面」へつなぐため、市民と観光客が集い交流できる象徴的な「ローカルハブ」が必要ではないか。民間の力も活用し、調査・研究を進めてほしい。

■総合政策部長 民間による公共空間の利活用や民間施設の設置を促し、周遊観光や市民交流による恒常的なにぎわいにつなげることは重要である。民間の

意見も聞き、効果的な取組について調査・研究を進めたい。

未来を創るこどものチャレンジ事業について

■議員 海外派遣事業は、子どもたちが異文化に触れ、多様な価値観を学ぶ貴重な機会である。単発で終わらせず、継続的な取組としていく考えはあるか。また帰国後の学びを学校や地域へ還元してはどうか。

■教育長 事後研修や報告会などを通じて成果を検証し、継続していきたい。参加した子どもたちの学びを、児童生徒や地域にも広げていきたい。

■議員 米子鬼太郎空港の国際線を活用し、韓国・ソウルなどへの派遣を加えることで、子どもたちに海外を身近に感じてもらえるのではないか。

■市長 まずはオーストラリア派遣を充実させ、韓国などへの派遣も選択肢として検討したい。国際的な視野と郷土への誇りを持ち、未来に挑戦する子どもを育てることは重要であり、教育は未来への投資と考えている。



にし の たい ち
西野 太一 議員
【新政自民】



本市庭球場（テニスコート）
について

■議員 湊山テニスコートの利用者は、朝5時半ころから練習を行っている。現在の東山庭球場の利用開始時間を伺う。また、開始時間を早める検討をするのか伺う。

■文化観光局長 現在の利用開始時間は午前9時である。利用時間を早めることについて検討したい。

■議員 ソフトテニスの中国地方大会や全国規模の大会を開催するためには16面程度のコートが必要とされている。本市には宿泊資源や飲食交流環境があり、大会誘致による経済波及効果は非常に大きいと考える。既存利用者の受け皿確保も考え、東山庭球場を現在の10面から6面増設し、16面体制へ整備する考えはないのか伺う。

■文化観光局長 16面体制に整

サッカーを活用したまちづくりについて

備することができれば、大規模な大会の誘致に当たり、有利であることは承知している。面的に6面整備することができなかろうか、敷地の状況などを考え、実現の可能性を探りたいと考えている。

■議員 Yonago Genki S.C.には県外から移住し、地元企業に就職しながら競技を続ける選手がいる。いわゆる「ターン」である。米子に住み、さらに結婚までしていただいた選手やOBも数多くいると伺っている。こうしたスポーツ人材を移住定住施策の一環として位置づけ、本市「ターン」助成制度を拡充する考えがないか伺う。

■総合政策部長 地域づくりの観点から、スポーツ人材を地元企業の戦力として雇用につなげることも重要であると考えている。関係機関と連携し、有効な手法を研究したい。

（その他の質問項目）

○市役所本庁舎の底地について
○文化ホール前広場について



やた が い かおり
矢田貝 香織 議員
【公明党議員団】



支援の見える化について

■議員 地域共生社会の実現に向けて、支援の見える化、生活援助の活動の見える化について、取組状況を伺う。

■福祉保健部長 地域福祉活動を行われる方が、支援につなげやすいよう、「身近でよくある生活福祉の困り事相談事例集」を作成し、民生児童委員に配布をしたところである。地域における支援の輪が広がるよう、さらなる周知に努めたい。また、様々な支援制度や仕組みについての情報共有や多職種による勉強会を開催しており、今後の支援ニーズの把握や充実につなげていきたいと考えている。

■議員 早速、今年度に入ってから勉強会も実施したとのことである。新任の福祉保健部長にも引き続き、地域共生社会の実現への取組を期待する。



まつ だ しん や
松田 真哉 議員
【無所属】



駅前通り3車線化の是非について

■議員 今回の選挙で、私は駅前通り3車線化のストップを街頭で訴え、公約として掲げ、最も多い票を頂いた。駅前通りは県管理の県道だが、平井知事は駅前通りの3車線化は市議会議員選挙の争点であり、出されてくる民意が重要であると発言されている。市長は今回の選挙において駅前通り3車線化についてどのような民意があったと捉えているのか。

■市長 松田さんが言われているのは存じているが、触れなかった議員が大半であり、それも1つの民意だ。

■議員 私は予算案に反対したが、3月に約3800万円をかけて駅前通りをジグザグにして、1か月間、実証実験を行った。実証実験を終えてどのように評価・検証しているのか。

避難所の開設と運営について

■議員 避難所開設の決定と開設運営は原則市が行い、避難所生活が長期化する場合には、避難者の方々に生活の場としての避難所運営を担っていただくという考えだが、避難所建物の解錠、避難者受付、居住スペース等の割り振りなど、混乱する発災当日から3日までの応急期こそ、市の避難所開設要員と施設管理者、そして、地域住民の連携が一番重要である。地域防災活動の取組として、避難所の開設と運営の訓練実施を求めたいがいかがか。

■防災安全監 地域における一般防災の取組のほか、今後は、地域住民を主体とした避難所開設運営に関する訓練の実施に向けて、地域や関係機関と調整を図っていきたい。

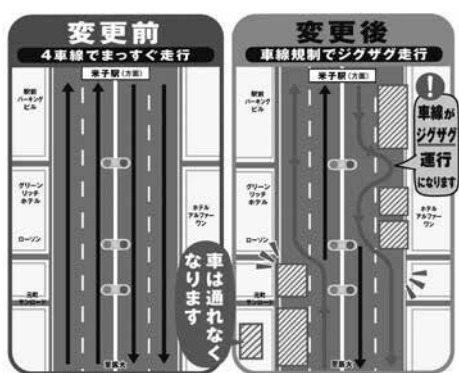
■市長 地震など突発的な災害時には、職員による対応だけでなく、地域住民による自助・互助の活動が大変重要になる。市と地域住民との具体的な協力体制について、市民の皆様とともに考えていきたい。

■総合政策部長 イベント時にはにぎわいを実感できたが平日の歩行者は増加しなかった。一般市民アンケートでは好意的な評価3割、低評価5割、2割は分からないという回答であった。

■議員 結果として平常時の人は増えなかった。アンケートでは、過半数が否定的な意見であった。実証実験をやってみて駅前通り3車線化は良くないと判断できるのではないか。今の時点でも進める意向が強いのか。

■市長 今後のまちづくりを考えたときに、それぐらいの事をしないとけないと思っている。

■議員 駅前通り3車線化は多くの市民は望んでおらず、これ以上検証する必要もない。やめという判断をするべきだ。





おおした てつじ
大下 哲治 議員
【信風】



竹の管理活用について

■議員 淀江町宇田川地区では農家を中心となって沿道の竹林管理を担っているが、高齢化に加え伐採竹の処分費用が大きな課題となっている。そこで、先行して成果を上げている大山町のように、市が竹チップを導入して貸し出し、現場でチップ化して、梨畑等の防草材や土壌改良材に活用する仕組みを作ることで、農家の負担軽減と市有地管理の効率化を同時に達成し、「竹害を竹材に変える取組」を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

■経済部長 竹チップについては、雑草抑制のための敷材としての利用など、様々な活用事例があることは承知している。竹チップの導入及び貸出制度を含め、本市にとって効果的な竹林整備の支援策について、他自

治体の取組状況や運用実績を踏まえながら、引き続き模索していきたい。

鳥取大学と児童文化センターの共創施設整備について

■議員 施設整備の共創においては、双方に利点と協議すべき点があると思うが、どのように分析した上で交渉に臨むのか伺う。

■こども総本部長 本施設の共創整備は、屋内遊び場の確保による市民サービス向上に加え、鳥取大学との費用分担による建築や維持管理コストの削減といった財政的効果が期待できる。今後は、大学側と施設機能や具体的な利用形態、費用負担の在り方について協議を進める必要があると認識している。

■議員 財政的メリットばかりが先行し、使い勝手や機能面で双方が妥協を強要される事態となっては本末転倒である。多世代が共生できる利用形態の実現に向け、市が主導権を握り、基本構想の段階からしっかりと協議、議論を進めるよう強く求める。



やくら みちひろ
矢倉 通宏 議員
【新政自民】



義務教育学校の早期開校に向けた具体的な工程について

■議員 美保中学校区義務教育学校の早期開校に向けた具体的な工程について伺う。

■教育委員会事務局長 開校時期については、令和13年4月を目標にしている。現在、造成工事と建築実施設計を前倒しで実施し、実施設計は令和9年3月末、造成工事は令和9年6月末までを工期としている。

■議員 義務教育学校周辺の環境を考慮した設計について、建設地は周りに畑しかないため、風雪、黄砂など北西の風の影響を受けやすく、また車の騒音も厳しいと考えられるが、対策はどのようにしているのか。

■教育委員会事務局長 基本設計においては、子どもたちにとって、安心・安全な施設を整備することをコンセプトとしたところである。それを踏まえて、

弓浜地区のサツマイモ・白ネギの農・福障がい者・高齢者連携について

周辺環境も考慮しながら、実施設計を進めている。具体的には、普通教室や保育室が北を向かないような配置とし、敷地の外縁に植栽を配置することで防砂対策を、駐車場の配置の工夫により防音対策を行っている。

■議員 弓浜地区はサツマイモ、白ネギの栽培に適した土壌であり、耕作放棄地が多くある。そこで、農福連携で障がい者、高齢者が耕作、収穫、加工等の農作業に参画することによる生きがいの創出について、市の取組を伺う。

■経済部長 障がい者や高齢者が農業に従事し、耕作や収穫・加工など農作業を行うことは、単に収入を得るだけではなく、社会とつながる居場所の確保、生きがいにつながるものである。鳥取県では農福連携が積極的に推進されている。また、本市でも、希望者には農業委員会、担い手育成機構等の関係者と協力し、業務内容や作業内容のメニュー化や希望報酬も明確にしながら、マッチングを行いたいと考えている。



いとう ひろえ
伊藤 ひろえ 議員
【信風】



よなごっこ未来計画について

■議員 少子化が進む中、本市が目指す女性や子どもが住みやすいまちづくりの具体的なグラウンドデザイン、全体像をどう描いているのか伺う。

■市長 女性が望む生活が実現できる環境作りを推進し、誰もが自分らしく生き生きと活躍できる社会を構築することで、将来を担う多くの若者や女性に選ばれるまちとなるよう、施策を進めていきたい。

■議員 全天候型の子どもの遊び場、居場所の整備の必要性について伺う。

■こども総本部長 冬の降雪に加え、猛暑の影響で天候に左右されない屋内の居場所や遊び場を求める声が多くあり、その確保は昨今の課題であると捉えている。

■議員 本市のショートステイ

の現状と分析を伺う。

■こども総本部長 利用希望日の重複などで調整できないことや、緊急時に対応できないこともあり、委託先を増やすことが課題となっている。

生活保護の目的に沿った窓口対応について

■議員 車保有の制限が障壁となり、必要な困窮世帯が申請を断念している現状について伺う。

■福祉保健部長 相談時に車の保有制限を理由に申請に至らなかったというケースがある。

■議員 鳥取県の自動車普及率は9割程度であるが、生活保護受給者の県内4市の自動車保有状況を伺う。

■福祉保健部長 鳥取市が5%、倉吉市と境港市が共に2・5%、そして米子市が0・4%である。

■議員 現在国や厚生労働省の検討会においても、地方の公共交通機関の衰退や子育て世代の実情、さらには自立の助長という生活保護本来の目的に鑑み、自動車保有の例外規定を柔軟に緩和すべきであるという議論が本格的に進められている。寄り添った柔軟な運用を要望する。



あらい しょうた
新井 章太 議員
【新政自民】



販路開拓支援について

■議員 市内の事業者における海外展開の意向の把握、調査状況について伺う。

■経済部長 令和6年度に中小企業者、小規模事業者にアンケート調査を実施し、回答405事業者のうち16%の65事業者が関心があるとの結果であった。

■議員 海外展開における課題やボトルネックについて、市内企業に関して把握している内容について伺う。

■経済部長 海外市場の開拓・現地交渉を担う専門人材の不在や国ごとの複雑な輸出規制や認証制度に関する専門知識の不足などがクリアすべき課題であると認識している。

■議員 市場調査結果などを踏まえ、本市として積極的に展開を図りたい地産品やサービスをどのように伺う。

■経済部長 一定の需要を基に、台湾への梨や柿の輸出が進んでいると聞いている。また、日本酒、リキュールや菓子等、既に市内事業者の商品が流通し、今後の需要を見込んでいる。

インバウンド誘客について

■議員 市内での観光消費額の拡大に向けた方針と消費額の把握方法について伺う。

■文化観光局長 本市が誇る食や自然・温泉等のコンテンツの戦略的な発信と飲食店等による受入体制整備への支援により、いわゆるナイトタイムエコノミーの拡大を図りたい。また、観光消費額の精緻な捕捉は困難だが、REASAS等のデータを活用し、傾向の把握に努めたい。

■議員 連休中の国際路線の再開や路線拡充の見通しと、新たな市場展開の展望を伺う。

■文化観光局長 具体的な動きはないが、ソウル便のデیلیー運航と台湾便の増便に向けた誘客促進政策を展開し、2路線の活用へ続けて注力したい。

(その他の質問項目)

○公共施設の有効活用について



こえだ ももこ
小枝 桃子 議員
【新政自民】



関係人口を生かした米子市の未来戦略について

■議員 二地域居住を人口減少対策と移住定住政策の中でどのように位置づけているか伺う。

■総合政策部長 新たな生活様式に対応した支援も必要と認識し、重点課題に掲げている。

■議員 ふるさと住民登録制度をどのように活用し、人口拡大や地域活動への参加につなげるのか伺う。

■市長 本市のファンクラブ「米子ヨネギーズ倶楽部」を発展的に位置づけ、関係人口の思いや技能を地域課題につなぐ「担い手活動プログラム」を進めている。第一弾として皆生温泉でプログラム募集を開始した。

■議員 リモートワークの受入れや二地域居住についてどのような可能性があるか伺う。

■総合政策部長 リモートワークの滞在先での消費による経

済活性化や地域活動への参加による地域力の向上、将来の移住につながることを期待している。

■議員 現在の取組が個別事業で終わらず、関係人口の創出から関係性の深まり、二地域居住、移住定住までを一体的につなぐ未来戦略となることを期待する。

夏休みの子どもの居場所確保について

■議員 よなご涼み処は、熱中症対策を目的とする事業のため、そのまま子どもの居場所へ転換することが困難であるとのことだが、子どもの利用実績はある。既存施設と文部科学省が要請する「子どもが安全に過ごせる場所の確保」との連携における課題を伺う。

■こども総本部長 既存施設等を夏休みの子どもの居場所として活用するには、スペースと人員確保が課題である。引き続き関係団体や関係部署と連携し、快適な環境で体験や交流の機会を得られ、安心して過ごせる居場所の拡充に取り組みたい。

■議員 既存施設等の活動を一覧化した「夏休みの子どもの居場所マップ」を作成すれば保護者の非常に有益な情報になる。



とくだ ひろふみ
徳田 博文 議員
【公明党議員団】



すい臓がんの早期発見の取組について

■議員 すい臓がんへの対応策は、早期発見が最も重要と聞いている。すい臓がんへの対策について、市の見解を伺う。

■市長 国のがん検診にすい臓がんの検診は含まれていない。現時点ですい臓がん対策としてがん検診を実施することは考えていないが、すい臓がんの発症リスクが高いとされる危険因子を持った人が受診行動につながるような意識啓発は必要と考えている。

■議員 すい臓がん危険因子チェックリストを作成し、広報よなごやホームページ、SNSなどで周知し、該当者に腹部エコーの受診勧奨をとおえるが、見解を伺う。

■福祉保健部長 すい臓がんの危険因子を広く市民にお知らせすることは、早期発見の第一歩

として有効であると考えている。他のがんの危険因子も合わせたチェックリストを作成し、市のホームページに掲載の上、様々な機会を捉えて啓発し、該当する方が、まずはかかりつけ医に相談の上、必要に応じて医療等につながるよう、情報発信に取り組んでまいりたい。

単身高齢者の見守り支援の強化について

■議員 スマートフォンアプリなどのデジタル技術を活用した孤立防止策について本市の具体的な取組内容と、今後の方向性の2点について見解を伺う。

■福祉保健部長 本市ではデジタル技術を活用した孤立防止策として、ICTによる高齢者見守り体制充実事業を実施している。本事業は離れて暮らす家族がスマートフォンなどの端末を通じて高齢者の生活状況の確認や音声通話によるコミュニケーションを促進するため、高齢者宅に設置するカメラやセンサー、マイク等の機器の購入費用の一部を補助するものである。持続可能な見守り支援には、このようなデジタル技術の活用が不可欠である。



わしお かずき
鷲尾 一樹 議員
【緑風会】



地域の防災対策について

■議員 市民の命を守ることは、市政における最も重要な課題である。鳥取県西部地震から25年が経ち、記憶の風化が懸念される。そこで、地域防災計画に基づき、今年度はどのような事業の実施を予定しているのか。

■防災安全監 家庭での備蓄や避難行動、ハザードマップの周知など、防災に関する知識普及を図るため、出前講座の実施や地域の防災イベントへの協力に取り組んでいる。また、2県6市が合同で原子力防災訓練を実施したところであり、今年度も順次実施予定である。

■議員 平時から、市民一人一人が災害への備えを自分自身の問題として捉える必要があると思うが、米子市民の防災意識をさらに高めるための今後の取組について伺う。

安全・安心な生活環境の整備について

■議員 通学路や公園などへ防犯カメラを設置する必要があるのではないかと。また、自治会に対する補助制度が必要ではないかと。市の見解を伺う。

■防災安全監 防犯カメラはプライバシーや国・県の指針を踏まえて個別に検討する必要がある。また、自治会への補助制度は現時点では設けていないが、今後検討してみたい。

■議員 自治会への防犯灯のLED化の支援を強化すべきだと思いが、市の見解を伺う。

■総合政策部長 LEDへの切替えの補助制度の活用を奨励しているが、工事負担等もあり、自治会の判断も必要であると考ええる。今後も早期切替えと補助制度の活用を周知していきたい。



たむら けんすけ
田村 謙介 議員
【緑風会】



自治会のデジタル化推進について

■議員 本市は自治会支援アプリCHIKUWA!を導入したが、デジタル化は担い手不足解消に有効であると考えているか。

■総合政策部長 デジタル化により、連絡や調整、文書の配布等に係る負担軽減、自治会活動への理解や参加の促進につながり、負担感の低減等により新たな担い手が創出されるよう強く期待している。

■議員 デジタル化を効率的に進めるには、時系列的に可視化した実行計画、いわゆるロードマップを策定すべきではないか。

■総合政策部長 まずはアプリそのものの認知度向上を進め、活用方法等の周知を図るため、現在は策定を考えていない。

■議員 デジタル化は各自治会の判断に任されており、足並みがそろっていない。市が主導し

て前に進めるべきではないか。

■総合政策部長 自治会により運営方法や活動内容が様々であり、現段階で全ての自治会でのアプリが必要ではないため、自治会の実情に応じてデジタル化が検討され、アプリの導入が行われるよう支援したい。

米子城跡の復元とにぎわい創出について・21

■議員 三の丸広場の整備が一段落し、一つの区切りを迎える中で、米子城跡の白壁復元について、具体的な検討を始める時期に来ているのではないかと。

■文化観光局長 二の丸や内膳丸などの保存整備方針の検討を進めていく中で、白壁の復元の可否を判断する。発掘調査に向けた環境が整い次第、順次調査を行い、遺構の有無を確認した後に整備内容を検討したい。

■議員 これまで提案してきた白壁土蔵群のライトアップについて、新たな交流拠点KAMOGAWAリバーサイドからの実証実験を要望したい。

■文化観光局長 夜間景観によるにぎわいの創出が期待できることから、実証実験の実施も含めて検討していきたい。



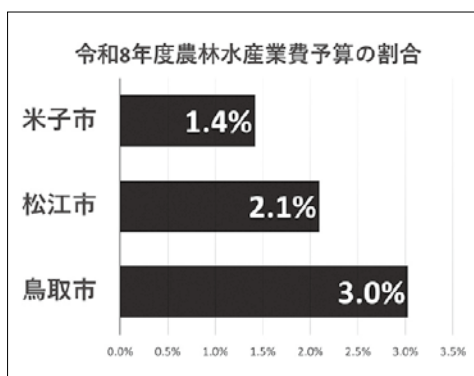
み き み え
三木 三枝 議員
【緑風会】



米子市の農業の価値と今後の農業政策について

■議員 自治体ごとの財政規模や産業構造が異なるため、一概に比較できないが、近隣自治体の農林水産業費の割合と他の自治体との比較を踏まえた予算規模、予算配分について、米子市ではどのように自己評価しているのか伺う。

■経済部長 予算全体に占める割合や市民一人当たりの予算額



は高くないが、農地1反当たりの予算額は他市と比較しても一定の水準を確保している。

■議員 農業者目線から見ても、もう一步市政として農業に踏み込んでいただきたい。

■議員 農業における市単独の事業と予算額について伺う。

■経済部長 令和8年度の単独事業は17事業、予算額は約5600万円である。

■議員 行政経営において重要なのは、幾ら支出したかだけではなく、その支出によって何を守って何を未来へ残すのかという視点である。市長に農業が市民を支える重要な地域資産であり、未来への投資でもあるとの認識の下、本市の重要な政策分野の一つとして今後も農業政策をしっかりと推進していく考えがあるのか、見解を伺う。

■市長 農業は、本市の基幹産業であり、農地の保全、地球環境維持及び防災減災など多面的機能を発揮する資産である。その発展は本市の未来にとって重要である。耕作放棄地の解消をはじめ、農業の担い手の確保・育成、農地の有効活用等、本市の重要な政策分野として、農業者の声を伺いながら推進したい。



つかだ よしみつ
塚田 佳充 議員
【新政自民】



部活動地域展開について

■議員 貸切バスや公共交通機関を利用した移動に係る費用負担の在り方について伺う。

■教育長 市が配分する学校予算に加え、部活動の大会参加に係る貸切バス代や公共交通機関の利用費用等に使用できる予算を確保しており、学校の裁量により運用等を決めている。実態として、まずは6月と10月に開催される中学校体育連盟主催の西部地区大会においては、公費で全て賄われている。次に中学校体育連盟や吹奏楽連盟が主催するその他の大会の際は、配分されている予算と合わせて部活動後援会等の保護者からの徴収金により賄われている。その他の中学校体育連盟や吹奏楽連盟以外の団体が主催する大会や練習試合等の移動費用については、実際に利用する部員の家族から

その都度集金したり、あるいは各部活動の部費や保護者会費等を充てたりしている。なお、中学校体育連盟や吹奏楽連盟が主催する中国大会や全国大会については、移動手段に問わず、開催地にに応じて交通費と宿泊費の一部を助成している。

■議員 保護者送迎に関する考え方について伺う。

■教育長 一般的に練習試合等は近隣の中学校同士となり、会場への移動は自転車あるいは公共交通機関を利用することが多くなっている。ただし、会場の都合等によりそういった方法での移動が困難な場合には、保護者の送迎による現地集合としている状況もある。生徒が安全を確保した上で充実した活動にするために、教職員と生徒・保護者がしっかりと話し合いながら部活動を進めていくことが大切だと考えている。

■議員 燃料代の補助が欲しい等の声がある。部活動の大会参加の移動に係る支援のさらなる充実について、見解を伺う。

■教育長 物価高騰等もあり、保護者負担を何とか軽減できないか、様々な視点からどのような支援ができるか考えたい。



おかだ けいすけ
岡田 啓介 議員
【新政自民】



狭あい道路解消について

■議員 中心市街地においては木造住宅密集地域に狭あい道路がある。第2次米子市まちづくりビジョンにおいて7本の柱の中に「災害に強いまちづくり」という項目があり、災害に強いまちづくりの一環として公共建築物の耐震化も行った。狭あい道路の解消を単独で行うよりも柔らかな区画整理事業や、都市計画道路整備と付随して行うこともできると考えるが、市長の見解を伺う。

■市長 議員御指摘のとおり、防災の観点からすると、より一層注意が必要なのは中心市街地の建物そのものが密接している狭あい道路ではないかと考える。柔らかな区画整理など、新たな規制緩和となった手段を使いながら、何らかの形で解消していく必要がある。



つかだ こういち
津田 幸一 議員
【公明党議員団】



安心して預けられる学童保育の充実について

■議員 防犯カメラやオートロックなどのハード面整備については、施設が道路に面して児童が飛び出した際、事故に遭いやすいような危険性の高い施設から優先的に整備を進めるべきと考えるが、市の考えを伺う。

■こども総本部長 専用施設は学校敷地内にあり、なかよし学級単独での整備ではなく、学校全体の防犯対策と歩調を合わせながら、安全面における個々の施設の状態も確認しつつ、その必要性を検討していきたい。

■議員 特に道路に面している施設や交通量の多い場所にある施設については、事故が起きてからでは取り返しがつかない。現場の実態を丁寧に把握し、防犯カメラやオートロックなどハード整備についても、優先度の高い施設から、計画的に進めて

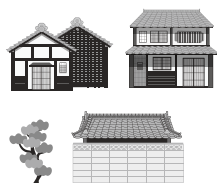
■議員 火災に関する延焼リスク等の観点からいくと、中心市街地の狭あい道路がある老朽化した木造住宅の密集地域は、非常に火災等の災害に弱い状況にある。ハードルが高い事業だが、一定の進捗を明確にする、またこういう数値目標でやるという、市長の考えを改めて伺う。

■市長 柔らかな区画整理事業を有効な手段として、狭あい道路の解消はもちろんのこと、住宅密集地域の様々な課題を解決していくべきという御指摘と受け止める。地権者がいる話なので、現時点においては十分な成果には至っていないが、決して諦めている訳ではない。米子市として課題意識を持つエリアというものをある程度見定めて、成果を出していかなければいけないと思っている。しっかりと取り組んでいくことを約束したい。

(その他の質問項目)

○少子化対策と若者の県外流出について

○耕作放棄地解消について



いただくよう強く要望する。

D51移設の推進について

■議員 令和8年3月議会でD51をだんだん広場に設置公開するのは難しいとの答弁があったが、湊山公園での搬出やつり上げなどの作業を市民に公開するなど、公開イベント実施についての考えを伺う。

■都市整備部長 湊山公園ではD51の修繕、解体、つり上げ、積み込み及び搬出を予定している。これらの作業の様子の公開イベントを通じ、市民と共有できれば、鉄道の歴史や文化に触れる機会となるとともに、市民参加によるまちづくりや将来にわたって、鉄道のまち米子に関心を持っていただくことにもつながると考えている。このため、安全面に十分配慮しながら、どのようなことができるか検討しているところである。

■議員 D51の移設は一度しかない大変貴重な機会である。単に工事を進めるだけではなく、市民や子どもたちが見学や体験を通して、鉄道のまち米子への愛着や誇りを育む機会となるよう要望する。



な か だ と し ゆ き
中田 利幸 議員
【信風】



エリアマネージメントについて

■議員 「新章米子まちづくり2025」における現在までの取組状況について伺う。

■総合政策部長 本市では、町なかと郊外の一体的な発展を目指し、町なかと郊外の拠点となる場所を有機的に結び、米子にふさわしい公共交通を生かした歩いて暮らせるコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めている。町なかでは歩いて楽しいまちづくりの推進として、米子駅周辺エリア・角盤町周辺エリア・米子城下町周辺エリアでは、ウォークアブル推進事業などに取り組んでおり、回遊性及び滞在性向上のため、道路整備や公園整備などを進めてきた。また、歩行者利便増進道路、いわゆるほこみちの指定や土地利用の規制緩和、だんだんバスの運行など、ソフト面での

政策も展開してきた。一方、郊外では、空き家の人的要件の緩和、鉄道駅や公民館周辺の住居系地区計画による規制緩和などの施策を行っている。弓ヶ浜地区及び箕蚊屋地区では、買い物・通院環境向上に向け、エリア内を巡回するコミュニティバスを運行している。

■議員 目指す郊外の生活環境について伺う。

■市長 郊外で暮らしていても、いつでも中心市街地に徒歩や公共交通の組み合わせで、一定の利便性が確保される中心市街地と有機的に結ばれた郊外の姿を考えている。

■議員 各エリアごとに拠点地域的な集積により、にぎわい、地域活動、課題解決の拠点を形成しながら、地域振興に寄与するような地区計画というものを考えていつてはどうか。

■市長 御指摘のとおり、地区計画が地域振興に寄与しなければならぬ。郊外の中でも可能性が高い交通の結節点、公民館回り、人が集まりやすい場所などを地域の振興に寄与する地区計画にしていこうという視点が大切であり、場所をよく調べながら有効活用していきたい。

■市長 そこはポイントの1つだと思ふ。同じではない。その辺りの安全性について説明を受ける中で、検証していきたい。

■議員 核燃料サイクルの中核と位置づけている使用済み核燃料再処理工場は2026年度中の完成が困難な情勢である。重大な欠陥があり、このままプルサーマルを進めるのは市民にも説明がつかないのではないか。

■防災安全監 国の判断で進められると認識している。

■議員 島根原発2号機は、2029年には40年超えの老朽原発に入る。原子力規制委員会の審査に合格すれば1回のみ最大20年間延長可能だが、中電は審査の申請もしていない。合格しなかったら2号機はどうなるのか。

■副市長 審査に合格しない原発の稼働は想定されない。

■議員 当然廃炉に進むしかない。再処理工場や2号機稼働延長も見通しが立ってから、この度の協議を受けるべきであった。（その他の質問項目）

○物価高騰と資材不足、事業を継続するために

○高齢者定期券バス支援事業の充実を



い ま し ろ ま さ こ
今城 雅子 議員
【公明党議員団】



身寄りのない高齢者等の暮らしのサポートについて

■議員 社会福祉法等改正法により、身寄りのない高齢者等への課題に対して、国による法的措置が始まった。本市の身寄りのない高齢者等あんしんサポート事業について、現状を伺う。

■福祉保健部長 現在5名の利用者に対し、定期的な安否確認や重要物品の管理、行政機関への同行支援等を実施している。毎月審査会を行う仕組みが、支援の正当性を担保し、関係機関との円滑な連携を図る上で効果的であると確認された。一方で実務上の課題も見えてきている。

■議員 法改正に伴う実証事業の修正の必要性和利用者拡大の検討等、今後の在り方を伺う。

■福祉保健部長 今後示されるガイドライン等の国の動向を注視しつつ、地域の多様な主体が協働し、本市独自の先進的なネ

ットワークを基盤として、本格実施に向けた仕組み作りを推進していきたい。

■議員 法改正を受け、本市において死後の事務支援を実施する上での課題について伺う。

■福祉保健部長 葬儀や納骨の生前契約には、預託金などの初期費用が必要なため資力不足から契約自体が困難な点や、本人が必要を感じにくく後回しになりがちなど、契約に長期かつ複雑な手続きを要し、身寄りのない高齢者等が一人に対応することが極めて難しい点がある。

■議員 死後の事務支援について、今後の具体的な取組について伺う。

■福祉保健部長 法改正により死後事務が公的サービスに準じて位置づけられた。今後は葬祭事業者や不動産関係者、法律専門職等とともに、国のガイドラインを踏まえた実効性のある官民連携の在り方や、円滑な生前契約に向けた伴走支援体制について協議を進めていきたい。

■議員 今、元氣だからこそ、これからの自分を考え、備えていただきたい。その要となる自治体とつながるサービスや事業の検討と展開を強く要望したい。



に し こ お り よ う こ
錦 織 陽子 議員
【日本共産党米子市議団】



島根原発2号機プルサーマル発電について

■議員 6月24日、中電よりプルサーマル発電の協議の申入れを受けたが、安全協定第6条（2）に基づくものか伺う。

■防災安全監 安全協定の趣旨に基づき行われたと認識している。中電は安全協定第21条第2項に基づいて誠意をもって対応するとされている。

■議員 プルサーマル発電稼働の可否判断を示す解権が鳥取県側にあるということか伺う。

■防災安全監 中電とは安全協定の運用において立地と同様の対応を行うと文書で確認している。

■議員 中電は第6条に基づくとは言わず、誠意に期待するということだ。プルサーマルのMOX燃料はウランより核分裂しやすく危険性がより高まるのではないか、市長の認識を伺う。



ま え し ま し ゅ う
前島 秀 議員
【無所属】



学校だけで抱え込まない支援体制について

■議員 校内サポート教室の利用状況と成果を伺う。

■教育長 昨年度は14校で139人、今年度は全34校に設置し、6月末までに約160人が利用している。登校や学級復帰できるようにするなど、長期欠席を防ぐ役割も果たしている。

■議員 保護者が一人で悩みを抱え込まないため、相談できる体制を整えることが重要である。保護者に対して、どのような相談支援を行っているのか伺う。

■教育長 学校では、教職員やスクールソーシャルワーカー等が連携して相談に対応している。

■議員 子どもの発達に関する不安など、保護者の抱える悩みへの具体的な支援を伺う。

■こども総本部長 支援については、18歳までを対象に心理士等による個別相談を行っている。

■議員 教育委員会とこども総本部が、どのように情報共有して支援につなげているのか伺う。

■教育長 就学前から関係課で情報共有し、切れ目のない支援につなげている。不登校が長期化する家庭には、連携して家庭環境を含めて支援している。

学校と地域がともに子どもを育む地域づくりについて

■議員 地域学校協働活動やコミュニティ・スクールを通じて、学校と地域をどのようにつないでいるのか伺う。

■教育委員会事務局長 全小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民等の協力を得ながら、地域学校協働活動や地域人材の発掘を進めている。

■議員 家庭の経済状況によって、子どもの体験や挑戦の機会が左右されない地域を目指すべきと考える。体験機会の格差への認識と今後の取組を伺う。

■市長 家庭の経済状況によらず、子どもが様々な体験を通じて健やかに成長することは重要である。放課後子ども教室や青少年育成会、子ども会活動などを支援し、多様な体験機会に触れられる環境づくりを進める。



かどわき ゆう
門脇 由 議員

【無所属】



地域の野良猫の管理について

■議員 地域の野良猫の管理については、行政がすべきものとの考えが、それとも住民がすべきものとの考えか伺う。

■市民生活部長 野良猫の管理については法律上の定めはないが、鳥取県動物愛護管理推進計画においては、地域住民が主体となつて対策することが重要であり、本市は住民の取組を支援する立場であるという認識である。

■議員 仮に今、※TNR活動を行つておられる団体等の活動が止まった場合、行政だけで今の野良猫の頭数に抑制ができるのか考えか伺う。

■市民生活部長 野良猫の頭数の抑制については、住民、ボランティア、行政が協力して行つていくことが重要で、行政だけでは抑制できるとは考えていない。

米子駅周辺の整備について

■議員 多くの米子市民が、車中心の移動から徒歩と公共交通中心の移動への転換を望んでいるとの考えか伺う。

■総合政策部長 多いか少ないかと言われると、多いとは考えていない。市民が安心して安全に暮らし続けることができる環境を作るためには、歩いて暮らすことができる、それから公共交通を利用して暮らすことができるまちづくりが肝要と考える。

■議員 3車線化という構想について、中止するという選択は今存在しているのか伺う。

■市長 にぎわい創出の部分について課題はあったが、一方で本当にこれを3車線化した場合の一番懸念された部分である交通への影響は、総じて言えば大きな変化が見られなかったのは、大変重要なデータであった。したがって、現時点で決定的に中止すべき結論が得られていない以上、中止という選択肢は今のところないと考えている。

※TNR：餌い主のいない野良猫を捕獲（Trap）し、不妊去勢手術（Neuter）を行い、元の場所に返す（Return）など、殺処分を減らし地域トラブルを防ぐ取組。

請願書・陳情書の審査に係る手続き

請願・陳情は、市議会と市民を直接つなぐ大切な手段です。市政についての意見や希望があるときは、だれでも提出できます。請願には、紹介議員の署名又は記名押印が必要ですが、陳情には紹介議員は不要です。

提出された請願は、所管委員会で審査した上、本会議にはかつて採択・不採択を決め、採択されたものについては市政等に働きかけます。陳情については、受理後に議員全員に配付し、米子市民から提出のあった陳情について賛同者があれば、所管委員会で審査した上、本会議にはかつて採択・不採択を決めます。また、それ以外の陳情については、配付にとどめます。

※提出者の氏名について、自署される場合は押印は必要ありません。
(自署以外による氏名の記載には押印が必要です。)

書式例

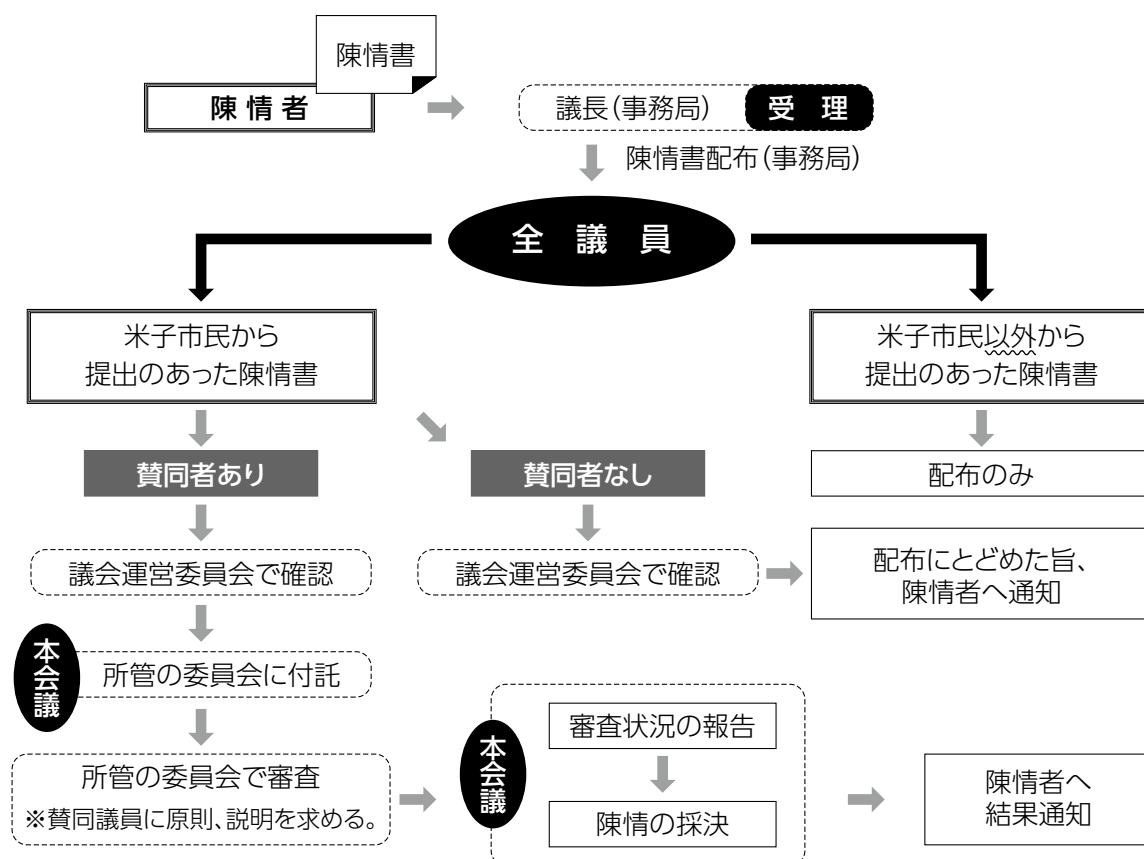
年 月 日
米子市議会議長 様
(提出者)
住 所
氏 名 (署名又は記名押印)
電話番号
〇〇〇に関する請願
1 要旨……
2 理由……

※陳情書については、請願書の書式に準じて記載してください。また、要旨及び理由は2枚以上になってもかまいません。

【記載上の注意事項】

- ①法人、団体として提出される場合は、その所在地及び名称並びに代表者の署名又は記名押印が必要です。昼間に連絡のとれる電話番号も記載してください。
- ②内容が2項目にわたるときは、1項目ごとに提出してください。**請願・陳情にかかる資料があればあわせて提出してください。**
- ③提出者が多数の場合には、代表者を選び、提出者欄に記入してください。
- ④関係行政庁に意見書の提出を求める請願・陳情の場合は、意見書の案を添付してください。
- ⑤希望すれば所管委員会で意見陳述をすることができます。

※事務処理の都合上、定例会開会日の2日前(市の休日を除く)の正午までに提出されたものについて、その定例会で審議されます。前記期限後に提出された書類(資料を含む)は、その次の定例会で審議されることになります。



またの しろう
又野 史朗 議員
【日本共産党米子市議団】



ごみ出し支援について

■議員 ごみ出しが困難な方へのごみ出し支援について、米子市でも様々な取組が始まっているが、生活ごみの可燃ごみは出してもらっているが、粗大ごみが出せずに困っているという声を聞いた。全国では、高齢者世帯や障がい者世帯などに対し、粗大ごみのごみ出し支援を行っているところがある。身体的な困難と経済的な困難を抱えている家庭には、無料で収集できるような支援が必要ではないか。

■市民生活部長 現時点では粗大ごみを対象とする考えはないが、他市の事例などを参考に研究していきたい。

■議員 そのような家庭での粗大ごみのごみ出しの困難さは理解しているか。

■市民生活部長 大きいごみなので、体力のない方は困難であるので、理解している。

と理解している。
■議員 ぜひとも、無料で収集できるような仕組みを検討するよう要望する。

公共交通について

■議員 箕蚊屋地区で、みのりんバスの実証運行が行われているが、今後のスケジュールについて伺う。

■総合政策部長 現時点で具体的なスケジュールを定めているわけではない。地域から様々な要望をいただいております、こうした声を丁寧に検討するとともに、利用状況を分析し本格運行を目指して、さらに実証を深めていきたい。

■議員 住民からは「どこに話をしたらいいかわからない」という声を聞く。住民の声を聞く機会はどうなっているのか。

■総合政策部長 バス車内、該当地区の公民館にアンケート用紙を設置しており、利用者だけでなく、利用しない方の意見の聴取にも努めている。今後は、改めて各地区の自治会などに出向き、さらなる要望の把握に努めたい。

令和 8 年米子市議会 7 月定例会提出議案等審議結果一覧表

●賛否が分かれた議案及び陳情●

			賛否の状況			
			賛否の状況			
			賛否の状況			
議案等番号	件名	議決結果	新政自民			
			新井章太	岡田啓介	加藤彰	
議案第79号	米子市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	
議案第80号	米子市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	

令和 8 年米子市議会 7 月定例会提出議案等審議結果一覧表

●全会一致で議決した議案等●

議案等番号	件名	議決結果
議案第66号	特別委員会の設置について	原案可決
議案第67号	監査委員の選任について	原案同意
議案第68号	農業委員会委員の任命について	原案同意
議案第69号	専決処分について(工事請負契約の締結についての議決の一部変更について)	原案承認
議案第70号	専決処分について(令和 8 年度米子市駐車場事業特別会計補正予算(補正第 1 回))	原案承認
議案第71号	米子市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第72号	米子市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第73号	米子市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第74号	米子市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第75号	米子市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第76号	米子市地方活力向上のための固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第77号	米子市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第78号	米子市児童福祉施設条例及び米子市立認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第81号	令和 8 年度米子市一般会計補正予算(補正第 3 回)	原案可決
議案第82号	令和 8 年度米子市一般会計補正予算(補正第 4 回)	原案可決
陳情第 3 号	米子市議会議員選挙における選挙公報の配布方法の抜本的見直しに関する陳情	趣旨採択

●報告●

報告番号	件名
報告第 2 号	令和 7 年度米子市繰越明許費繰越計算書について
報告第 3 号	令和 7 年度米子市事故繰越し繰越計算書について
報告第 4 号	令和 7 年度米子市水道事業会計予算繰越計算書について
報告第 5 号	令和 7 年度米子市下水道事業会計予算繰越計算書について
報告第 6 号	法人の経営状況について
報告第 7 号	令和 7 年度米子市水道事業会計継続費精算報告書について

賛否の状況																			
新政自民							公明党議員団				信風			緑風会			日本共産党 米子市議団	無所属	無所属
小枝桃子	塚田佳充	西野太一	森田悟史	矢倉通宏	渡辺穰爾	渡邊洋介	今城雅子	津田幸一	徳田博文	矢田貝香織	伊藤ひろえ	大下哲治	中田利幸	田村謙介	三木三枝	鷲尾一樹	錦織陽子	又野史朗	門脇由
○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

●陳情の議決結果の理由等●

陳情 第 3 号	＜賛成意見＞ 市民から「何を見て投票すればよいか分からない」という声が多く届いており、実際に投票率も下がっている。エリアや業者を分けて配送するなどの工夫はまだ検討可能であり、選挙公報の配布方法の抜本的な見直しは必要である。
	＜趣旨に賛同する意見＞ ①短期間での全世帯配布は人員や費用面から現実的に困難であり、今回の選挙でも新聞折り込み以外の配布方法や市のホームページ、投票所等での周知などで入手手段は講じられていた。しかし、届かないことで投票機会を逃した可能性も考慮し、情報格差の解消に向けた見直しは必要である。陳情にある手法だけではなく、既存の手段を組み合わせた総合的な検討と工夫を期待する。 ②趣旨は分かるが、今回の低投票率は選挙公報の未到達よりも、市議会の不祥事に対する不満の方が影響として大きかったと感じる。 ③低投票率の要因や紙の選挙公報の影響度についてはさらなる分析・検証が必要である。紙媒体に限らず、市の公式 L I N E やショート動画などを活用した広報の抜本的見直しを行うべきである。 ④選挙公報を届ける環境を整えることは大変重要で、より多くの市民に届けるという陳情の趣旨には賛同する。選挙公報を公共施設のみならず商業施設に置いたり、市ホームページや SNS での周知、また今回の選挙で発生した防災無線の未放送への再発防止策など、広報体制の改善を求める。 ⑤郵送申請の周知不足は明らかであり、候補者の政策が有権者に十分に伝わらなかった点は課題だが、陳情項目は、いずれも現段階では不可能である。
	＜反対意見＞ 米子市の条例に基づく選挙期日 2 日前までの全戸配布完了は物理的に不可能であり、前提として覆せない。したがって代替措置などを検討していきたい。また、今回の低投票率の要因が全て選挙公報の未到達にあるような陳情の主張にも同意できない。 採決の結果、趣旨採択となりました。



しんせいじみん
新政自民



あら いしょうた
新井章太



おか だけいすけ
岡田啓介



かとう あきら
加藤 彰



こえだ ももこ
小枝桃子



つかだ よしみつ
塚田佳充



にし のたいち
西野太一



もり たさとし
森田悟史



やくら みちひろ
矢倉通宏



わたなべ しょうじ
渡辺穰爾



わたなべ ようすけ
渡邊洋介

議

員

紹

介

令和8年9月1日現在
※会派内は五十音順

公明党議員団



いまし るまさこ
今城雅子



つ だ こういち
津田幸一



とくだ ひろふみ
徳田博文



やた い かおり
矢田貝香織

日本共産党米子市議団



にし おりようこ
錦織陽子



また のしろう
又野史朗

しん ふう
信 風



いとう
伊藤ひろえ



おおした てつじ
天下哲治



なかだ としゆき
中田利幸

りよくふうかい
緑風会



たむら けんすけ
田村謙介



み き み え
三木三枝



わし おかずき
鷺尾一樹

無所属



かどわ き ゆう
門脇 由

無所属



まえじ ま しゅう
前島 秀

無所属



まつだ しんや
松田真哉

無所属



よしお か こと
吉岡古都

◎委員長 ○副委員長

◎大下哲治
○津田幸一
新井章太
今城雅子
加藤 彰
錦織陽子
松田真哉
三木三枝

広報広聴委員会

※令和8年9月1日時点の委員構成

お問い合わせ先

米子市議会事務局 〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地

TEL: (0859) 32-0302 FAX: (0859) 35-6464

メール: gikai@city.yonago.lg.jp

米子市議会

検索

URL: <https://www.city.yonago.lg.jp/gikai/>

ご意見等ありましたら、電話・FAX・メール等でお寄せください。

